

教科名	国語科	科目名	現代文	単位数	4 単位
対象学年	第3学年 普通科 特別進学コース・文系	履修形態	必修	授業形態	一斉授業
学習目標	近代以降の優れた文章や作品を読解し、鑑賞する能力を高めるとともに、ものの見方・感じ方・考え方を深め、自ら表現し読書することによって人生を豊かにする姿勢を育てる。				
進め方	教科書・板書を中心に講義を進める。必要に応じて内容理解のためのプリントを配布して補足したり、プリント等による問題演習や口頭での発表を行って、理解を深めさせるよう考慮する。				
評価の観点 評価方法	規定に従い、1学期・2学期・3学期とも定期考査の点数と平常点、出席点で評価する。平常点20点は授業態度、意欲、提出物、単元別小テストの4項目各5点で総合的に評価する。				
使用教材	三省堂『高等学校 現代文 改訂版』、その他自主教材				
その他					

年 間 授 業 計 画

月	学 習 項 目	時間数	学 習 到 達 目 標
4	1、随想 「市民のイメージ」	6	1、民主主義国家の成員である「市民」であることを、受動的ではなく、「市民」に成る、と能動的に考える必要性について考える。2、カフェの開店準備が人の人生とどういう類似点を持っているか、そして「私」はそれを見ながらどう思ったのかを整理し、まとめる。
	2、随想 カフェの開店準備	6	
5	1、小説(一) 山月記 (中間考査)	6	1、虎の姿に託して描かれた人間性とは何かを考え、親友との出会いと対話によって、自尊心で固く閉ざされていた心を開いていく主人公李徴の心のありようを捉える。2、思春期の愛と心の痛みに共感を覚えながら、「私」の幹生に対する思いの変化を確認し、語り手である大人になった「私」の、現在の思いを読み取る。
	2、小説(一) ひよこの眼	6	
6	1、評論(一) ミロのビーナス	8	1、詩的でアイロニカルな文章展開の妙を味わい、「ミロのビーナス」の失われた両腕に美を見出し、想像力の翼を駆って人間存在のありようを洞察する論旨を読み解く。2、日本の近代化の過程において、裸体が禁止され、着衣が広まったこと、また姿勢が変化したことは何を意味するのか、まとめる。
	1、評論(一) 身体像の近代化	8	
7	1、入試対策 自主教材 (期末考査)	4	夏休みを目前に、実際の入試に出題された評論文・小説・随想などを、キーワードや頻出語、段落相互の関係などに注意しながら正確に論旨を追える読解力と、的確に表現できる力を養う。
8	1、入試対策 自主教材	4	実際の大学入試センター試験に出題された評論文・小説・随想などを、キーワードや頻出語、段落相互の関係などに注意しながら正確に論旨を追える読解力を養う。
9	1、評論(二) ホンモノのおカネの作り方	8	1、ニセガネ作りたちを支配してきた「ホンモノの形而上学」には存在しない貨幣の本質について、論の展開を追いながら読み取る。2、「意味」とはどのように生成し、いかなるものであるのかを理解し、さらに日本語の特質について考察する。
	2、評論(二) 意味と日本語	8	
10	2、評論(二) 意味と日本語 (中間考査)	6	1、「意味」とはどのように生成し、いかなるものであるのかを理解し、さらに日本語の特質について考察する。2、お嬢さんとの恋によって変化したKの態度や様子をまとめる。「私」とKの心のありようを読み取る。
	2、小説(二) こころ	6	
11	1、小説(二) こころ	8	1、Kの自殺の場面における「私」の行動を読み取り、人と人との間に横たわる孤独と闇、近代人のエゴイズムについて考察する。2、実際の大学入試センター試験に出題された評論文・小説・随想などを、キーワードや頻出語、段落相互の関係などに注意しながら正確に論旨を追える読解力を養う。
	2、入試対策 自主教材 (期末考査)	8	
12	1、入試対策 自主教材	12	実際の大学入試センター試験に出題された評論文・小説・随想などを、キーワードや頻出語、段落相互の関係などに注意しながら正確に論旨を追える読解力を養う。
1	1、入試対策 自主教材 大学入試センター試験	12	1、大学入試センター試験を目前に、実戦問題を行う。2、センター試験後は、国公立二次・私立大対策を行う。
2	1、入試対策 自主教材	12	1、センター試験後は、国公立二次・私立大対策を行う
3			

教科名	国語科	科目名	現代文	単位数	3 単位
対象学年	第3学年 普通科 特別進学コース・理系	履修形態	必修	授業形態	一斉授業
学習目標	近代以降の優れた文章や作品を読解し、鑑賞する能力を高めるとともに、ものの見方・感じ方・考え方を深め、自ら表現し読書することによって人生を豊かにする姿勢を育てる。				
進め方	教科書・板書を中心に講義を進める。必要に応じて内容理解のためのプリントを配布して補足したり、プリント等による問題演習や口頭での発表を行って、理解を深めさせるよう考慮する。				
評価の観点 評価方法	規定に従い、1学期・2学期・3学期とも定期考査の点数と平常点、出席点で評価する。平常点20点は授業態度、意欲、提出物、単元別小テストの4項目各5点で総合的に評価する。				
使用教材	三省堂『高等学校 現代文』、その他自主教材				
その他					

年 間 授 業 計 画

月	学 習 項 目	時間数	学 習 到 達 目 標
4	1、随想 「市民のイメージ」	5	1、民主主義国家の成員である「市民」であることを、受動的ではなく、「市民」になる、と能動的に考える必要性について考える。2、カフェの開店準備が人の人生とどういう類似点を持っているか、そして「私」はそれを見ながらどう思ったのかを整理し、まとめる。
	2、随想 カフェの開店準備	4	
5	1、小説(一) 山月記 (中間考査)	9	1、虎の姿に託して描かれた人間性とは何かを考え、親友との出会いと対話によって、自尊心で固く閉ざされていた心を開いていく主人公李徴の心のありようを捉える
6	1、評論(一) ミロのビーナス	6	1、詩的でアイロニカルな文章展開の妙を味わい、「ミロのビーナス」の失われた両腕に美を見出し、想像力の翼を駆って人間存在のありようを洞察する論旨を読み解く。2、日本の近代化の過程において、裸体が禁止され、着衣が広まったこと、また姿勢が変化したことは何を意味するのか、まとめる。
	1、評論(一) 身体像の近代化	6	
7	1、入試対策 自主教材 (期末考査)	6	夏休みを目前に、実際の入試に出題された評論文・小説・随想などを、キーワードや頻出語、段落相互の関係などに注意をしながら正確に論旨を追える読解力と、的確に表現できる力を養う。
8	1、入試対策 自主教材	3	実際の大学入試センター試験に出題された評論文・小説・随想などを、キーワードや頻出語、段落相互の関係などに注意をしながら正確に論旨を追える読解力を養う。
9	1、評論(二) ホンモノのおカネの作り方	6	1、ニセガネ作りたちを支配してきた「ホンモノの形而上学」には存在しない貨幣の本質について、論の展開を追いながら読み取る。2、「意味」とはどのように生成し、いかなるものであるのかを理解し、さらに日本語の特質について考察する。
	2、評論(二) 意味と日本語	6	
10	2、評論(二) 意味と日本語 (中間考査)	3	1、「意味」とはどのように生成し、いかなるものであるのかを理解し、さらに日本語の特質について考察する。2、お嬢さんとの恋によって変化したKの態度や様子をまとめる。「私」とKのこころのありようを読み取る。
	2、小説(二) こころ	6	
11	1、小説(二) こころ	3	1、Kの自殺の場面における「私」の行動を読み取り、人と人との間に横たわる孤独と闇、近代人のエゴイズムについて考察する。2、実際の大学入試センター試験に出題された評論文・小説・随想などを、キーワードや頻出語、段落相互の関係などに注意をしながら正確に論旨を追える読解力を養う。
	2、入試対策 自主教材 (期末考査)	6	
12	1、入試対策 自主教材	6	実際の大学入試センター試験に出題された評論文・小説・随想などを、キーワードや頻出語、段落相互の関係などに注意をしながら正確に論旨を追える読解力を養う。
1	1、入試対策 自主教材	6	1、大学入試センター試験を目前に、実戦問題を行う。2、センター試験後は、国公立二次・私立大対策を行う。
	2、入試対策 自主教材 大学入試センター試験	3	
2			
3			

教科名	国語科	科目名	古典	単位数	2 単位
対象学年	第3学年 普通科 特別進学コース・文系	履修形態	必修	授業形態	一斉授業
学習目標	古典としての漢文を読解し、鑑賞する能力を養うとともに、感じ方や考え方を広くし、自らの人生を豊かにする姿勢を育てる。漢文読解に必要な基本句法や基礎事項を理解し文章の読解を深めるとともに、併せて優れた文章、詩に触れることによって中国の文化への理解・関心を深める。				
進め方	教科書・板書を中心に講義を進める。音読を重視し、また必要に応じて内容理解のためのプリントを配布して補足したり、プリント等による問題演習や口頭での発表を通じて理解を深めさせるよう考慮する。				
評価の観点 評価方法	規定に従い、1学期・2学期・3学期とも定期考査の点数と平常点、出席点で評価する。平常点20点は授業態度、意欲、提出物、単元別小テストの4項目各5点で総合的に評価する。				
使用教材	筑摩書房『古典』、その他自主教材				
その他					

年間授業計画

月	学習項目	時間数	学習到達目標
4	1、小説 離魂記	8	1、返り点、送り仮名、書き下し文などの基本的なルールや重要な句法、再読文字など、ポイントを押さえながら正確に文章を読み解く。また怪異現象を取り扱った内容を読むことで、漢文をより身近なものに意識する。
5	1、小説 偷桃 (中間考査)	4	1、日本人の感覚とは異なったエキゾチックなムードを味わいながら読む。2、張良の見事な論法を丁寧にとり、臣下による主君への説得という、情理を兼ね備えた会話を読み取る。
6	1、史伝二 留侯世家(高祖功臣を封ず) 2、史伝二 淮陰侯列伝(前半)	4 4	1、張良が劉邦に進言する内容を読み取り、権力者に対する忠言という、臣下として最も難しい事柄をいかに行っているかということから、言葉の大事さ、あるいは権力というものの恐ろしさなど、現代にも通じる課題を考える。2、蕭何と劉邦とのやりとりのおもしろさを通じ、特に劉邦の心理の変化を読み取る。
7	1、史伝二 淮陰侯列伝(後半) (期末考査)	2	1、韓信による項羽という人物の描写の見事さを読み味わい、人民の信頼を得ていない権力は結局は滅ぶという真理を具体的に分かりやすく述べるといふ、その論法を理解する。
8	1、漢詩二 李白(秋浦歌・蘇台覽古)	2	1、ともに有名な李白の詩を読み、絶句という短い詩型の中に歌われる、老いの嘆きや歴史懐古の情を味わう。
9	1、漢詩二 李白(長干行) 2、漢詩二 杜甫(登岳陽樓・秋興)	4 4	1、民謡調の独特のリズムを味わいながら、主人公の女性の心情を、段落の展開にそって理解する。2、対句の素晴らしさなどの表現上の特色、作品の生れた社会的背景と内容の関連の、両面から理解する。
10	1、漢詩二 杜甫(兵車行) (中間考査)	4	1、戦争と庶民、という普遍的なテーマを理解する。また、句の長さが変化することで生れるリズム感についても理解する。2、ストーリーを追って段落に分けて内容を把握する。
11	1、漢詩二 白居易(長恨歌) 2、漢詩のまとめ (期末考査)	4 4	1、玄宗皇帝と楊貴妃というよく知られた、恋愛詩・叙事詩として鑑賞する。また、白居易が日本文学に与えた影響などにも、理解を深める。2、今まで習った漢詩を復習して、学習の定着をする。
12	1、思想二 老子 2、思想二 莊子	2 2	1、二年次の「思想一」で学んだ儒家に続き、諸子百家のさまざまな思想に触れ、中国人のものの考え方の幅広さを理解する。老子では逆説的な表現によって常識を覆す論理を理解する。2、莊子では、スケールの大きな寓話の世界を味わう。
1	1、思想二 荀子 2、思想二 韓非子 大学入試センター試験	4 4	1、孟子の「性善説」と対比しながら、その論理を読み取る。2、一見すると非常に形式にとらわれた考え方を、その背景にある政治感覚や秩序感覚を丁寧に読解することで理解する。
2	1、入試対策 自主教材	8	1、センター試験後は、国公立二次・私立大対策を行う
3			

教科名	国語科	科目名	古典	単位数	2 単位
対象学年	第3学年 普通科 特別進学コース・理系	履修形態	必修	授業形態	一斉授業
学習目標	古典としての古文漢文を読解し、鑑賞する能力を養うとともに、感じ方や考え方を広くし、自らの人生を豊かにする姿勢を育てる。読解に必要な文法事項や古語の知識、漢文の基本句法や基礎事項を理解し文章の読解を深める				
進め方	教科書・板書を中心に講義を進める。音読を重視し、また必要に応じて内容理解のためのプリントを配布して補足したり、プリント等による問題演習や口頭での発表を通じて理解を深めさせるよう考慮する。				
評価の観点 評価方法	規定に従い、1学期・2学期・3学期とも定期考査の点数と平常点、出席点で評価する。平常点20点は授業態度、意欲、提出物、単元別小テストの4項目各5点で総合的に評価する。				
使用教材	筑摩書房『古典』、その他自主教材				
その他					

年 間 授 業 計 画

月	学 習 項 目	時間数	学 習 到 達 目 標
4	1、漢文 小説 離魂記	8	1、返り点、送り仮名、書き下し文などの基本的なルールや重要な句法、再読文字など、ポイントを押さえながら正確に文章を読み解く。また怪異現象を取り扱った内容を読むことで、漢文をより身近なものに意識する。
5	1、漢文 小説 偷桃 (中間考査) 2、古文 物語二 大鏡 (花山院の出家)	4 4	1、日本人の感覚とは異なったエキゾチックなムードを味わいながら読む。2、登場人物の行動、心情を読み取るとともに、紀伝体の語りの方に注意して、臨場感や躍動感に富む文章を読み味わう。
6	1、古文 大鏡 (花山院の出家、南の院の競射) 2、漢文 史伝二 留侯世家(沛公秦宮に入る)	4 4	1、若き日の道長の負けし魂と強運を語る挿話を読み、劇を見るような語りのおもしろさ・魅力を味わう。2、張良が劉邦に進言する内容を読み取り、権力者に対する忠言という、臣下として最も難しい事柄をいかに行っているかということから、言葉の大事さ、あるいは権力というものの恐ろしさなど、現代にも通じる課題を考える。
7	1、漢文 史伝二 淮陰侯列伝 (期末考査)	2	1、韓信による項羽という人物の描写の見事さを読み味わい、人民の信頼を得ていない権力は結局は滅ぶという真理を具体的に分かりやすく述べるという、その論法を理解する。
8	1、古文 日記二 蜻蛉日記(道綱鷹を放つ)	2	1、道綱と作者の言動を通して、その心情を読み取り、自己の魂の真実の告白がどのように表現として達成されているかを考察する。また、男性の漢字文化とは異なり、生活の中で習熟したかな文字による表現力を味わう。
9	1、古文 日記二 和泉式部日記(夢よりもはかなき世の中) 2、古文 物語三 源氏物語(光源氏の誕生)	4 4	1、歌を読み合うという営為によって現実の身分差を超えて生成されるさまざまな感情を読み取り、王朝女流日記の豊かな世界を味わう。2、平安期の文学の多様な流れを統合した、物語文学の最高峰とも言うべき作品を通して王朝文学の粋を味わう。
10	1、古文 物語三 源氏物語(小柴垣のもと) (中間考査) 2、漢文 漢詩二 白居易(長恨歌)	4 4	1、光源氏が、後の伴侶となる紫の上を垣間見る場面はどのように描かれているかを読み取り、源氏の紫の上に対する心情の移り変わりを捉える。また、和歌に読み込まれた心情をたどるとともに、修辞法についても理解を深める。2、ストーリーを追って段落に分け、内容を把握する。
11	1、漢文 漢詩二 白居易(長恨歌) 2、漢文 思想二 老子・莊子 (期末考査)	4 4	1、玄宗皇帝と楊貴妃というよく知られた、恋愛詩・叙事詩として鑑賞し、白居易が日本文学に与えた影響にも、理解を深める。2、諸子百家のさまざまな思想に触れ、中国人のもの考え方の幅広さを理解する。老子では逆説的な表現によって常識を覆す論理を、莊子ではスケールの大きな寓話の世界を味わう。
12	1、漢文 思想二 韓非子 2、漢文 思想二 墨子	2 2	1、一見すると非常に形式にとらわれたの考え方を、その背景にある政治感覚や秩序感覚を丁寧に読解することで法家の思想を理解する。2、墨家思想の「兼愛」の根本精神は何かを読み取る。
1	1、古文 評論 無名草子 2、入試対策 自主教材 大学入試センター試験	4 2	1、物語評論を読むことで、『源氏物語』や紫式部への興味を深めるとともに、作者の批評の視点を捉える。2、大学入試センター試験を目前に、実戦問題を行う。
2			
3			

教科名	国語科	科目名	古典講読	単位数	2 単位
対象学年	第3学年 普通科 特別進学コース・文系	履修形態	必修	授業形態	一斉授業
学習目標	古典としての古文を読解し、鑑賞する能力を養うとともに、感じ方や考え方を広くし、自らの人生を豊かにする姿勢を育てる。古文読解に必要な文法を理解し、古語の知識を身につけ、文章の読解を深めるとともに、我が国の文化と伝統に対する関心を深め、古典に親しむ態度を養う。				
進め方	教科書・板書を中心に講義を進める。音読を重視し、また必要に応じて内容理解のためのプリントを配布して補足したり、プリント等による問題演習や口頭での発表を通して理解を深めさせるよう考慮する。				
評価の観点 評価方法	規定に従い、1学期・2学期・3学期とも定期考査の点数と平常点、出席点で評価する。平常点20点は授業態度、意欲、提出物、単元別小テストの4項目各5点で総合的に評価する。				
使用教材	筑摩書房 『古典講読[古文] 物語・評論選』、その他自主教材				
その他					

年 間 授 業 計 画

月	学 習 項 目	時間数	学 習 到 達 目 標
4	1、竹取物語 大伴の大納言と竜の首の玉 2、竹取物語 かぐや姫の嘆き	3 3	1、2、登場人物の行動や心情を細かに読み取ることで、人々の願望や苦悩などのさまざまな人間的な感情がどう描かれているかを考察する。また、月の世界を理想の世界として思い描く古代人の想像力のあり方を理解する。
5	1、伊勢物語 月やあらぬ (中間考査) 2、伊勢物語 盗人	4 2	1、2、和歌を中心として展開する歌物語の特徴を理解し、修辭法に注意しながら、和歌の興行きのある表現方法を味わう。また各章段の多様な愛の姿を読み取り、人々にとって和歌を詠むことが人生の中でいかに重要な行為であったかを考えることで、叙情的な美しさを読み味わう。
6	1、伊勢物語 狩りの使ひ 2、伊勢物語 小野の雪	4 4	1、2、3、和歌を中心として展開する歌物語の特徴を理解し、修辭法に注意しながら、和歌の興行きのある表現方法を味わう。また各章段の多様な愛の姿を読み取り、人々にとって和歌を詠むことが人生の中でいかに重要な行為であったかを考えることで、叙情的な美しさを読み味わう。
7	1、伊勢物語 とみの文 (期末考査) 2、和歌の修辭法	2 2	1、和歌を中心として展開する歌物語の特徴を理解し、修辭法に注意しながら、和歌の興行きのある表現方法を味わい、叙情的な美しさを読み味わう。2、和歌の修辭法の理解を深め、和歌をより深く鑑賞する力を養う。
8	1、紫式部と『源氏物語』	2	1、『源氏物語』に入っていく前段階として、「家系と人間形成」「『源氏物語』の創作とその世界」などの視点から、作者と物語への関心を深める。また、王朝文学の最高峰とも言うべき作品世界への理解を深める。
9	1、源氏物語 光源氏の誕生 2、源氏物語 飽かぬ別れ	4 2	1、2、平安期の文学の多様な流れを統合した、物語文学の最高峰とも言うべき作品を通して王朝文学の粋を味わう。「桐壺巻」では、両親の悲恋の物語から語り起こされ、その歴史を継ぐものとして源氏の生涯が始まっていくという点を理解する。また人物に対する敬語の用いられ方に注意し、敬語法について理解を深める。
10	1、源氏物語 飽かぬ別れ・心づくしの秋 (中間考査) 2、源氏物語 心づくしの秋	4 2	1、2、物語の展開にそくして、帝の心の動きと行動をたどる。また帝の心の葛藤をたどりながら、その背後にある、病氣療養やそこでの死が許されないという宮中の掟への理解を深める。須磨に退去した源氏の心情について考察し、また詩歌の引用など表現上の効果について理解する。
11	1、源氏物語 罪の子 (期末考査)	6	1、不義の子を抱かねばならず、またそれがかつての自身と藤壺との過ちを想起させ、人間の根底にある情念の醜さを思い知るといふ源氏の悲嘆や苦悩を読み取り、また出家した女三の宮に対する源氏の複雑な心の動きを捉える。
12	1、大鏡 『大鏡の世界』 雲林院にて	4	1、『大鏡』の内容、構成・形式・成立時期、作者について理解する。紀伝体の語りの方眼に注意して、臨場感や躍動感に富む文章を読み味わう。また、大宅世継、夏山繁樹、若侍という三者の目で複眼的に歴史を見据えていこうという作者の執筆意図をつかむ。
1	1、大鏡 菅公配流 2、入試対策 自主教材 大学入試センター試験	4 4	1、時平、道真の官位・年齢・人柄を整理し、人物像をまとめる。道真の配流の原因をつかみ、文中の和歌や漢文に込められた道真の心情を捉え、白居易と『白氏文集』の平安文学への影響・慣例について理解を深める。2、大学入試センター試験を目前に、実戦問題を行う。
2	1、入試対策 自主教材	8	1、センター試験後は、国公立二次・私立大対策を行う。
3			

教科名	歴史	科目名	世界史B	単位数	4単位
対象学年	第3学年 普通科	履修形態	選択	授業形態	分割授業(文系)
科目の目標	世界の歴史の大きな枠組みと流れを、我が国の歴史と関連付けながら理解させ、文化の多様性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。				
学習内容の概要	○第部：第10章ヨーロッパ主権国家体制の展開～第14章：帝国主義とアジアの民族運動 ○第部：第15章二つの世界大戦～第17章現代の世界				
学習方法	教科書・ノート・地図・資料集の活用をベースに基礎的知識を学び、世界の歴史の流れや各文化の特色、現代世界の形成の歴史的過程を把握させる。				
評価の観点・ 評価方法	基礎的知識を身につけるとともに、世界の歴史の大きな枠組みと流れに対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求しようとする姿勢に着目したい。 定期考査・問題演習・主体的な学習への取り組み・出席状況などを総合的に評価する。				
使用教材	山川出版社「改訂版詳説世界史B」				
その他					

年間授業計画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	評価
4	第部 第10章ヨーロッパ主権国家体制の展開	重商主義と啓蒙専制主義 ヨーロッパ諸国の海外進出	4 4 4	・イギリス革命の持つ性格を諸側面から考察させ、2度の革命を経て、政党政治と責任内閣制が確立されたことを理解させる。 ・フランス絶対王政の最盛期の特徴を理解させる。 各国の植民地経営、英仏の植民地抗争、奴隷貿易がヨーロッパの資本主義の発展に大きな関わりを持つことを理解させる。	始業式
5	第11章欧米における近代社会の成長	17～18世紀のヨーロッパ文化 産業革命 アメリカ独立革命	4 4 4	・ルネサンス以来の合理主義の発展が、17～18世紀の近代的学問の基礎を形成したことを理解させる。 ・「産業革命」では、イギリスで始まった背景をとらえさせ、その実情と広範な影響について考察させる。「アメリカ独立革命」では、独立までの経緯を把握させるとともに、独立宣言や憲法によって近代民主主義の原理が明らかにされ、いち早く市民社会が形成されたことをとらえさせる。	中間考査
6	第12章欧米における近代国民国家の発展	フランス革命とナポレオン ウィーン体制 ヨーロッパの再編	4 4 4	・「フランス革命とナポレオン」では、革命がおこった背景やその進行の状況を取り上げ、革命が急進化していく過程で諸階級がめざした政治体制の違いを考察させる。また、ナポレオンの果たした役割について理解させる。 ・ウィーン体制がどのような理念に基づき、どのように維持された国際秩序であったかをとらえさせる。そして、ウィーン体制に対する抵抗運動が「48年革命」に至るまでどのように進められたかを考察させる。また、この時期に社会主義思想が成立したことにも触れる。	期末考査
7		アメリカ合衆国の発展 19世紀欧米文化	4 4	・合衆国では、西部開拓が進展する過程で南部と北部の対立が激化し、南北戦争が起こったことをとらえさせる。さらに戦後の資本主義の発展について理解させるとともに、多様な人的構成を見せるアメリカ社会の形成過程にひそむ差別の問題について考えさせる。 ・ロマン主義・写実主義・自然主義などの文芸思潮の特色とその時代背景、学説や発見・発明などの人類・社会に対する影響や貢献について理解させる。	終業式
8	第13章アジア諸地域の動揺	オスマン帝国支配の動揺とアラブのめざめ～東アジアの激動	4	・オスマン帝国の衰退を引き起こした要因の一つがアラブ民族の自立化の動きであることを押さえる。	始業式
9	第14章帝国主義とアジアの民族運動	帝国主義と列強の展開～アジア諸国の改革と民族運動	4 4 4	・中華思想を形成してきた中国では西欧で成立した近代的な国際関係についての知識がなかったため、清が不平等条約を結ぶことになり、中国が半植民地化するきっかけとなったことを考えさせる。 ・帝国主義の成立する背景を考えさせ、先進資本主義諸国が資本を蓄積し、それらを海外投資するため競合してアジア・アフリカなどに進出して植民地化を進めたことについて理解を深めさせる。 ・義和団事件以後、中国東北地方や朝鮮半島をめぐる日・露の利害の対立が緊迫化し、日露戦争に発展したことをとらえさせ、この戦争が世界に与えた影響と日本が帝国主義的な国家として韓国を併合したことを理解させる。	

10	<p>第 部</p> <p>第 1 5 章二つの世界大戦</p> <p>第 1 6 章冷戦と第三世界の自立</p>	<p>第一次世界大戦とロシア革命～第二次世界大戦</p> <p>東西対立の始まりとアジア諸地域の自立～米・ソ両大国の動揺と国際経済の危機</p>	<p>4</p> <p>4</p> <p>4</p> <p>4</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・バルカン半島における民族構成の複雑さを背景に、ここを舞台にした民族主義による対立が列強の進出とからみつつ、世界戦争のきっかけとなったことを理解させる。 ・第一次世界大戦が総力戦として国民経済を圧迫したことからロシア革命が勃発し、史上初の社会主義国家が誕生したいきさつを理解させる。 ・ヴェルサイユ体制の基本的性格をとらえさせ、ウィルソンの平和原則の一方で、ドイツやソ連への対応、アジアへの姿勢など、多くの問題点を持ったことに着目させる。 ・ドイツがヨーロッパを制圧しながらも、イギリスなどの激しい抵抗にあって戦争が長期化し、独ソ戦が多くの人命を犠牲にしつつも大戦の流れを大きく変えたことを理解させる。さらに日中戦争から太平洋戦争に拡大していったいきさつを理解させ、アジア各地での日本の占領政策について考えさせる。 ・「冷戦」の構造となった東西陣営の対立関係が形成されていった過程を、ドイツの占領と復興問題を中心に理解させる。 ・大戦後のアジア諸国では、冷戦の影響によって分断国家となった国を含めて、次々と独立を達成していったことをつかませる。 ・イスラエルが建国されたことから中東戦争が始まったことを理解させ、これと関連させながらアラブ地域の民族主義のあり方を把握させる。 ・アフリカの独立・ラテンアメリカの国情を取り上げ、地域対立・政情不安、経済の立ち遅れなどの問題を理解させる。また、先進国が経済援助を通じてこれらの地域に影響力を行使する実情に触れる。 ・キューバ危機をきっかけに米ソ両大国が歩み寄りを示し、緊張緩和、平和共存の流れが進んだことを理解させる。 ・スターリン批判を機に社会主義諸国に動揺が見られ、中ソ対立も始まったことから、ソ連の国際的威信が低下したこと、長期化したベトナム戦争で敗北したことが、アメリカの自信を揺るがすことになったことをつかませる。 	中間考査
11	<p>第 1 7 章現代の世界</p> <p>センター試験対策</p>	<p>冷戦の解消と世界の多極化～現代文明</p>	<p>4</p> <p>4</p> <p>4</p> <p>4</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜ軍縮が進行したか、米ソ両国の内部事情と国際世論の両面からその理由を考えさせる。 ・米中、日中間の国交正常化が持つ意義を理解させる。 ・なぜ先進経済地域が統合化を目指すのか、その意図を考察させる。 ・1989年以降のソ連と東欧地域の変革について、その歴史的意義を考察させる。 ・市場経済・民主化・自由化などの観点から、世界の社会主義諸国が変動に見舞われた事情を理解させ、その課題を認識させる。 ・第三世界で起きた内戦・戦争などの原因を理解させる。 ・現代文明の特質とは何かを把握させる。 <p>・実践問題や過去問題に取り組み、実力を養成する。</p>	期末考査
12	センター試験対策		<p>4</p> <p>4</p> <p>4</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実践問題や過去問題に取り組み、実力を養成する。 	終業式
1	センター試験対策 私大・二次試験対策		<p>4</p> <p>4</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実践問題や過去問題に取り組み、実力を養成する。 	始業式
2	私大・二次試験対策			<ul style="list-style-type: none"> ・実践問題や過去問題に取り組み、実力を養成する。 	
3	私大・二次試験対策			<ul style="list-style-type: none"> ・実践問題や過去問題に取り組み、実力を養成する。 	卒業式

教科名	地理歴史科	科目名	日本史B	単位数	4単位
対象学年	普通科特別進学コース 第3学年	履修形態	必修	授業形態	文系日本史B選択者
a. 科目の目標	日本史の歴史的流れを、世界史的視野から考察するとともに、律令制から荘園制の発展(2年次)、太閤検地、近世流通発達史、近代の産業革命、戦後の農地改革と財閥解体など、経済史的側面からのアプローチに重点を置きながら、政治史・文化史・(宗教)思想史を3本柱として学習を進める。全体として、根拠を明示する「実証」的姿勢を大切にするとともに、問題解決的な「実践」性を養いたい。				
b. 学習内容の概要	近世、近代・現代の流れを理解する。近世、近代・現代は2学期までに終了。大学入試センター試験・私大受験・国公立大2次試験に対応するため、教科書終了後は総復習と問題演習に重点をおく。				
c. 学習方法	教科書、参考資料をフル活用し、講義スタイルで展開する。				
d. 評価方法	定期考査、実力テスト、各種課題の提出など、定期考査を中心とする判断材料の中で総合的に評価する。				
e. 使用教材	教科書「詳説日本史B」山川出版社 問題集「日本史B10分間テスト」山川出版社 ワーク「詳説日本史Bノート」山川出版社 担当者オリジナル受験対策テキスト「日本史の基礎と応用」など。				
f. その他	平日講習、夏期講習、冬期講習では授業を進める(前年比、単位削減分をここで補うこととする)。				

年 間 授 業 計 画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	留意事項
4	第3部 近世 第6章 幕藩体制の 確立	織豊政権と「天下」統一	4	「大航海時代と宗教改革」を概観し、織豊政権との関連を考える。「天下」の内実を分析し、幕藩体制の基本的構造を組織・法令・外交など総合的に理解したい。	始業式 模擬試験 遠足
		江戸幕府の成立	2		
		幕藩体制の基本構造[組織]	2		
		幕藩体制の基本構造[法令]	2		
5	第7章 幕藩体制の 展開	幕藩体制の基本構造[外交]	3	外交政策について、鎖国体制の完成まで年号形式でその内容を理解する。また、武断から文治政治へ。4代家綱～7代家継までの基本政策を把握する、など。	中間考査 模擬試験
		幕政の安定について	3		
		経済の発展	3		
6	第8章 幕藩体制の 動揺	元禄文化とその思想	4	享保の改革 田沼政治 寛政の改革 大御所政治 天保の改革について、それぞれの基本政策を理解する。百姓一揆についてはその前後との関連[土一揆と自由民権期の激化事件]で分析したい。	県総体 進学講演 模擬試験 期末考査
		享保の改革	3		
		百姓一揆概観	2		
		田沼時代と寛政の改革	3		
		大御所政治と天保の改革	3		
7	第4部 近代・現代	諸藩の藩政改革	2	化政文化について、美術・文学・国学・洋学・儒学と経世思想をそれぞれ概観し、その特徴を理解したい。さらに、国学については尊王思想との関連も考えたい。	スポーツ祭 数学検定 終業式 進学合宿
		化政文化[美術と文学]	2		
		化政文化[国学と洋学]	3		
		化政文化[儒学と経世思想]	3		
8	第9章 近代国家の 成立	生活と信仰	2	列強の接近に対する幕府の対応の中で下級武士が登場、政治運動の過程で尊王論と討幕論が結合する「流れ」を理解する。新撰組の歴史的位相にも注目する。	中期講習 後期講習 始業式 模擬試験
		列強の接近と開国	4		
		幕府の対応	2		
		幕末～明治維新期の政治運動	6		
9		戊辰戦争と明治政府の成立	2	明治政府による神道国教化政策と対抗思想の脆弱性、啓蒙思想から自由民権思想へ、民権運動の敗北から憲法制定・初期議会、日清戦争の勝利まで複雑な流れをわかりやすく理解したい。	模擬試験 模擬試験
		明治政府の諸政策	5		
		啓蒙思想・土族反乱	2		
		自由民権運動とその思想	4		
		初期議会と条約改正	2		
10	第10章 近代日本と アジア	朝鮮問題と日清戦争	3	明治内閣史を日清・日露戦争と関連付け、理解したい。また、大正デモクラシーの背景となった吉野作造・美濃部達吉の思想について分析する。	体育祭 中間考査 模擬試験 数学検定
		日露戦争と明治内閣史	4		
		近代産業の発展	3		
		明治の文化	3		
11		大正デモクラシーと第一次大戦	4	1920年代の協調外交と、30年代の強硬外交と軍部の台頭について、対中国・朝鮮政策と関連付けて理解したい。	創立記念日 模擬試験 文化祭
		ワシントン体制と協調外交	4		
		護憲三派内閣の成立	4		
12	第11章 占領下の日本 第12章 高度成長の 時代	軍部の台頭	5	アジア・太平洋戦争の中で、日中全面戦争から対米英戦になぜ突入したのか、順を追って理解したい。また、戦後史は現代社会的視点も大切にしたい。	期末考査 模擬試験 終業式 冬期講習
		第二次世界大戦と日本	4		
		戦後内閣史整理 その1	4		
		戦後内閣史整理 その2	4		
1		センター試験直前対策	4	センター対策・私大受験対策・国公立大2次試験対策。総復習を含め、政治史・経済史・文化史を中心に要点を整理する。	始業式 センター 試験 入学試験
		私大受験対策	4		
		私大受験対策	4		
		国公立大2次試験対策	4		
2		国公立大2次試験対策	4	記述式への全対応をめざす。おもに政治・経済史を中心に流れを理解し、かつ表現力も養う。	国立2次 試験
		国公立大2次試験対策	4		
		国公立大2次試験対策	4		
3		国公立大2次試験対策	4		卒業式 特別授業 国立2次 試験
		国公立大2次試験対策	4		

教科名	地理	科目名	地理 B	単位数	3 単位
対象学年	第 3 学年 普通科	履修形態	選択	授業形態	分割授業 (理系)
科目の目標	「現代世界の地理的事象を系統地理的、地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会で主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う」という指導要領に示されている目標が本科目の目標である。				
学習内容の概要	「自然と生活」「世界の諸地域」を 2 年時で、「グローバル化する現代世界」「地球的な課題」を 3 年時に...と 2 年間に渡って学習する。				
学習方法	科目の目標が達成できるように、また単なる知識の暗記に陥らないように生徒自らが「何故だろう」と絶えず発想し、興味を持って学習できるように工夫する。				
評価の観点・ 評価方法	知識の暗記だけではなく、発想の広がりを持った生徒を育てることに留意したい。 具体的な評価として、定期考査・各課題の提出状況・出席状況・授業中の態度等をもとに総合的に評価する。				
使用教材	帝国書院「新詳地理 B 最新版」 帝国書院「新詳高等地理初訂版」				
その他					

年間授業計画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学効
4	第 部世界の諸地域 ○州大陸規模の地域の調査	○ヨーロッパ ○東南アジア	3 3 3	・ EU の歩みや現状について理解させる。また、ヨーロッパの産業の地域的特色や変化、問題点に対する対応についても考察させる。 ・ 東南アジアの民族・文化・農業について理解させ、また ASEAN についても考察させる。	始業式
5	第 部グローバル化する現代社会 ○グローバルに結びつく現代社会	○国家と国家群 ○交通・通信・時差	3 3 3 3	・ 国家の三要素や国家の形態について理解させ、国境をめぐる諸問題について考察させる。 ・ 世界の交通網の地域差や、情報化社会における現状と課題について考察させる。	中間考査
6	○近隣諸国の研究	○貿易 ○中国 ○ロシア	3 3 3 3	・ 貿易に関する基礎的知識を定着させ、日本の貿易の特徴と課題について考察させる。 ・ 中国における生活の変化や、それに伴う課題について考察させる。 ・ 広大な国土をもつロシアに居住する様々な民族の生活について理解させる。	期末考査
7	○地図でとらえる現代社会 ○地域区分でとらえる現代世界の課題	○地図化してとらえる南北問題 ○アフリカ	3 3	・ 生活の基盤や教育をめぐる問題を地図化することで、南北問題についての現状を捉え、理解させる。 ・ アフリカやラテンアメリカの地域区分の事例を通して、その地域の概況や、抱えている課題を考察させる。	終業式
8		○ラテンアメリカ	3		始業式
9	第 部地域的な課題 ○人口・食料問題	○さまざまな人口・食料問題 ・インド ・コートジボアール ・スウェーデン ・日本	3 3 3 3	・ 発展途上国の人口・食料問題について、インド・コートジボアールを事例に、先進国の人口・食料問題について、スウェーデンを事例に、現状と課題を考察させる。 ・ 日本における少子高齢化の進展について理解させ、今日の人口問題を、世界的な視野から考察させる。	
10	○都市・住宅問題	○さまざまな都市問題 ・メキシコシティ ・ラゴス ・ロンドン ・日本	3 3 3 3	・ 発展途上国の都市問題について、メキシコシティ・ラゴスを事例に、先進国の都市問題としてロンドンを事例に、現状と対策を理解させる。 ・ 日本の都市問題についても現状と問題点を考察させる。	中間考査
11	○環境・エネルギー問題 ○民族・領土問題	○さまざまな環境・エネルギー問題 ○民族・領土をめぐる対立の課題	3 3 3 3	・ 環境破壊の具体的な事例を認識させ、解決に向けての取り組みを考察させる。 ・ 民族の多様性をめぐる諸問題について、その時代背景を重ね合わせて考察させる。	期末考査
12	総合的学習	センター対策	3 3 3	・ 問題演習	終業式
1	総合的学習	センター対策	3 3	・ 問題演習	始業式

教科名	公民	科目名	現代社会	単位数	1単位
対象学年	第3学年 普通科	履修形態	選択	授業形態	分割
科目の目標	センター試験対応に即し、応用力・実践力の充実に努める。				
学習内容の概要	2年次までに学んだ現代社会の基本的事項の総復習。 センター試験対応の実践問題を重ねることによって、実力を高めてゆく。				
学習方法	実践問題集・過去問題集等を用い、センター試験への対応力を高める。				
評価の観点・ 評価方法	規定に従い、定期考査・各課題等の提出状況・出席状況を基にし、総合的に評価する。平常点20点は授業態度・意欲・理解度・提出物等の観点で評価する。				
使用教材	1・2年時に使用した教科書・テキスト・センター試験対応実践問題集等を使用する。				
その他	夏期・冬期休業中の講座・土曜補習等において実践力模試を実施し、実力を高める。				

年間授業計画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事		
4	実践問題(1)	倫理的内容	1	キーワードを確認し、 各分野の総まとめと 復習を徹底する。	始業式		
		環境問題等	1				
		総合問題	1				
5	実践問題(2)	経済的内容	1				
		総合問題	1				
			1				
6	実践問題(3)	政治的内容	1				
		総合問題	1				
			1				
7	実践問題(4)	現代社会	1		センター試験を 見据え、実践力 を高める。 各分野の重要 語彙・テーマの 確認等を徹底。	終業式	
		総合問題	1				
8	センター試験対策(1)	倫理・環境分野	1				
9	センター試験対策(2)	経済分野	1				
			1				
			1				
10	センター試験対策(3)	政治分野	1				
			1				
			1				
11	センター試験対策(4)	総合問題(1)	1				
			1				
			1				
12	センター試験対策(5)	総合問題(2)	1				
			1				
			1				
1	センター試験対策(6)	私大入試の 傾向対策と 実践問題	1	私立大学入試 問題の分析。	始業式		
	私立大学一般入試		1		卒業考査		
2	私立大学一般入試		1				
			1				
			1				
3	私立大学一般入試		1				
			1				
			1				
							卒業式
							終業式

教科名	数学	科目名	数学	単位数	3 単位
対象学年	第3学年(普通科) 特別進学コース 文系	履修形態	必修	授業形態	文理2分割/ 一斉授業
科目の目標	国公立大学現役合格を目指し、個別学力試験およびセンター試験において高得点を取れるように指導し、科目の総合的理解を深める。				
学習内容の概要	数学 A分野を中心に、演習を行なうことによって、総合的思考力を身につける。				
学習方法	自主制作プリントで反復演習を行い、入試問題を用いて実践演習を行う。				
評価の観点・ 評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。 平常点20点は授業態度・意欲・提出物の状況・理解度の4項目各5点で評価する。				
使用教材	東京書籍 数学 A 数研出版 4STEP数学 + A 数研出版 チャート式基礎からの数学 + A				
その他	毎週1回の平日課外学習で、授業を終えた範囲の演習(80分)、3週に2回の土曜講習で同様の演習を行う(90分)。				
年間授業計画					
月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	数学 A演習	数学 A演習	3 3 3	数学 A演習 数学 A演習 数学 A演習	始業式 新入生合宿
5			3 3	数学 A演習 数学 A演習	中間考査
6			3 3 3 3	数学 A演習 数学 A演習 数学 A演習 数学 A演習	
7			3	数学 A演習	期末考査 終業式 夏期講習・夏期合宿
8	数学 Aセンター対策 演習		3	数学 Aセンター対策 演習	夏期中期講習 夏期後期講習 始業式
9		数学 Aセンター対策 演習	3 3 3 3	数学 Aセンター対策 演習 数学 Aセンター対策 演習 数学 Aセンター対策 演習 数学 Aセンター対策 演習	
10			3 3 3	数学 Aセンター対策 演習 数学 Aセンター対策 演習 数学 Aセンター対策 演習	中間考査
11			3 3 3 3	数学 Aセンター対策 演習 数学 Aセンター対策 演習 センター試験対策演習 センター試験対策演習	
12			3 3	センター試験対策演習 センター試験対策演習	期末考査 終業式 冬期講習
1			3 3 3	個別試験対策演習 個別試験対策演習 個別試験対策演習	始業式
2			3 3 3	個別試験対策演習 個別試験対策演習 個別試験対策演習	期末考査
3			3 3	個別試験対策演習 個別試験対策演習	卒業式

教科名	数学	科目名	数学	単位数	3 単位
対象学年	第3学年(普通科) 特別進学コース 文系	履修形態	必修	授業形態	文理2分割/ 一斉授業
科目の目標	国公立大学現役合格を目指し、個別学力試験およびセンター試験において高得点を取れるように指導し、科目の総合的理解を深める。				
学習内容の概要	数学 B分野を中心に、演習を行なうことによって、総合的思考力を身につける。				
学習方法	自主制作プリントで反復演習を行い、入試問題を用いて実践演習を行う。				
評価の観点・ 評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。 平常点20点は授業態度・意欲・提出物の状況・理解度の4項目各5点で評価する。				
使用教材	東京書籍 数学・B 数研出版 4STEP数学 + B 数研出版 基礎からの数学 + B				
その他	毎週1回の平日課外学習で、授業を終えた範囲の演習(80分)、3週に2回の土曜講習で同様の演習を行う(90分)。				

年 間 授 業 計 画

月	項 目	学 習 内 容	時 間	学 習 の ポ イ ン ト	主 な 学 校 行 事
4	数学 B 演習	数学 B 演習	3	数学 B 演習	始業式 新入生合宿
			3	数学 B 演習	
			3	数学 B 演習	
5			3	数学 B 演習	中間考査
			3	数学 B 演習	
6			3	数学 B 演習	
			3	数学 B 演習	
			3	数学 B 演習	
			3	数学 B 演習	
7			3	数学 B 演習	期末考査 終業式 夏期講習・夏期合宿
8	数学 B センター対策 演習	数学 B センター対策 演習	3	数学 B センター対策 演習	夏期中期講習
					夏期後期講習 始業式
9		数学 B センター対策 演習	3	数学 B センター対策 演習	
			3	数学 B センター対策 演習	
			3	数学 B センター対策 演習	
			3	数学 B センター対策 演習	
10			3	数学 B センター対策 演習	中間考査
			3	数学 B センター対策 演習	
			3	数学 B センター対策 演習	
11			3	数学 B センター対策 演習	
			3	数学 B センター対策 演習	
			3	センター試験対策演習	
			3	センター試験対策演習	
12			3	センター試験対策演習	期末考査
			3	センター試験対策演習	終業式 冬期講習
1			3	個別試験対策演習	始業式
			3	個別試験対策演習	
			3	個別試験対策演習	
2			3	個別試験対策演習	期末考査
			3	個別試験対策演習	
			3	個別試験対策演習	
3			3	個別試験対策演習	卒業式
			3	個別試験対策演習	

教科名	数学	科目名	数学	単位数	4 単位
対象学年	第3学年(普通科) 特別進学コース 理系	履修形態	必修	授業形態	文理2分割/ 一斉授業
科目の目標	国公立大学現役合格を目指し、個別学力試験において高得点を取れるように指導し、科目の総合的理解を深める。				
学習内容の概要	極限、連続関数の概念をつかみ、無限級数の収束・発散について学習する(極限)。さまざまな初等関数の微積分を扱い、高階導関数とグラフ、部分積分や置換積分を学ぶ(微分・積分)。基本事項を早めに習得し、高校数学全般の演習を行なうことによって、総合的思考力を身につける。				
学習方法	教科書の内容を中心に問題集で反復演習を行い、入試問題を用いて実践演習を行う。				
評価の観点・ 評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。平常点20点は授業態度・意欲・提出物の状況・理解度の4項目各5点で評価する。				
使用教材	東京書籍 数学 数研出版 4STEP数学 +C 数研出版 解法と演習 数学 +C				
その他	毎週1回の平日課外学習で、授業を終えた範囲の演習(80分)、3週に2回の土曜講習で同様の演習を行う(90分)。				

年 間 授 業 計 画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	極限	数列の極限	4 4 4	数列の極限 関数 関数の極限	始業式 新入生合宿
5	微分	微分法 いろいろな関数の導関数	4 4 4	導関数、積・商の微分法 合成関数の微分法 三角関数の導関数	中間考査
6			4 4 4	対数関数・指数関数の導関数 高次導関数	期末考査
7	微分の応用	接線・関数の増減 いろいろな微分の応用	4 4 4	接線の方程式、平均値の定理 関数の増減、極大・極小 曲線の凹凸 最大・最小、方程式・不等式等	終業式 夏期講習・夏期合宿
8	積分とその応用		4	媒介変数表示、速度・加速度等 不定積分 定積分	夏期中期講習 夏期後期講習
9	数・C 演習	数・C 演習	4 4 4 4	面積・体積 数・C 演習 数・C 演習 数・C 演習	始業式
10			4 4 4	数・C 演習 数・C 演習 数・C 演習	中間考査
11			4 4 4 4	数・C 演習 数・C 演習 センター試験対策演習 センター試験対策演習	
12			4 4	センター試験対策演習 センター試験対策演習	期末考査 終業式 冬期講習
1			4 4 4	個別試験対策演習 個別試験対策演習 個別試験対策演習	始業式
2			4 4 4	個別試験対策演習 個別試験対策演習 個別試験対策演習	期末考査
3			4	個別試験対策演習	卒業式

教科名	数学	科目名	数学C	単位数	3 単位
対象学年	第3学年(普通科) 特別進学コース 理系	履修形態	必修	授業形態	文理2分割/ 一斉授業
科目の目標	国公立大学現役合格を目指し、個別学力試験において高得点を取れるように指導し、科目の総合的理解を深める。				
学習内容の概要	行列の加法・乗法などの演算に習熟し、連立方程式の解法と関連して、点やベクトルの変換について学ぶ(行列)。2次曲線を中心にいろいろな曲線について学ぶ(式と曲線)。基本事項を早めに習得し、特に数学A・B分野の演習を行なうことによって、総合的思考力を身につける。				
学習方法	教科書の内容を中心に問題集で反復演習を行い、入試問題を用いて実践演習を行う。				
評価の観点・ 評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。平常点20点は授業態度・意欲・提出物の状況・理解度の4項目各5点で評価する。				
使用教材	東京書籍 数学C 数研出版 4STEP数学 +C 数研出版 解法と演習 数学 +C				
その他	平日の放課後、講習で毎週1回(80分)、授業を終えた範囲内でのプリント演習、土曜講習で3週に2回90分の同様の演習を行う。				

年 間 授 業 計 画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	行列とその応用	行列の応用	3	連立方程式と行列 行列による点の移動 原点のまわりの回転	始業式 新入生合宿
			3		
			3		
5	いろいろな曲線	2次曲線	3	移動の合成と積 放物線・楕円・双曲線	中間考査
			3		
6		媒介変数表示と曲座標	3	2次曲線と直線 2次曲線と平行移動 2次曲線と離心率 媒介変数表示 極座標と極方程式	
			3		
			3		
			3		
7			3	いろいろな曲線	期末考査 終業式 夏期講習・夏期合宿
8					夏期中期講習
9	数学 A・B 演習	数学 A・B 演習	3	数学 A・B 演習 数学 A・B 演習 数学 A・B 演習 数学 A・B 演習	夏期後期講習 始業式
			3		
			3		
			3		
10			3	数学 A・B 演習 数学 A・B 演習 数学 A・B 演習	中間考査
			3		
			3		
11			3	数学 A・B 演習 数学 A・B 演習 センター試験対策演習 センター試験対策演習	
			3		
			3		
			3		
12			3	センター試験対策演習 センター試験対策演習	期末考査 終業式 冬期講習
			3		
1			3	個別試験対策演習 個別試験対策演習 個別試験対策演習	始業式
			3		
			3		
2			3	個別試験対策演習 個別試験対策演習 個別試験対策演習	期末考査
			3		
			3		
3			3	個別試験対策演習	卒業式

教科名	理科	科目名	物理	単位数	5 単位
対象学年	第3学年 普通科(理系)	履修形態	必修	授業形態	単独
科目の目標	大学受験を目指す生徒に対し、自然科学の物理分野における一般的な教養を身につけさせることを目標にしている。				
学習内容の概要	自然界における現象を基本的な原理・法則に基づいていることを理解する。				
学習方法	実験や視聴覚教材を利用し、演習問題を通して教科書の内容を理解させる				
評価の観点・ 評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。 平常点20点は授業態度・意欲・提出物の状況・理解度の4項目各5点で評価する。				
使用教材	教科書、啓林館 物理 改訂版 問題集 啓林館 センサー物理				
その他	生徒の進路や習熟度に応じて宿題提出を行なう				

年間授業計画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	力と運動	平面内の運動 放物運動 運動量の保存 反発係数 章末問題	15	・直線運動から平面運動について理解する。・2物体の衝突から運動量の保存と跳ね返りについて理解する。	始業式
5		円運動 慣性力と遠心力 単振動 章末問題	15	・周期的な運動の法則を理解する。・作用力と運動による見かけの力を判断しその法則性を理解する。・惑星の運動や万有引力について理解する。	中間考査
6	電気と磁気	電界 電位 コンデンサー 章末問題	18	・電荷にはたらく遠隔力から電界の存在を理解し、電界のする仕事と位置エネルギーの関係から電位及び電位差を理解する。・コンデンサーの原理と働きを理解する。・導体を移動する自由電子から電流について理解する。・電気抵抗と回路を流れる電流の関係を理解する。	期末考査
7		電流 直流電流 章末問題	11		終業式 夏期補習
8		磁気力と磁界 電流がつくる磁界 電流が磁界から受ける力 ローレンツ力 章末問題	5	・磁気力から磁界について理解し、さまざまな電流のつくる磁界について理解する。・さまざまな電流が磁界から受ける力の大きさを理解する。・荷電粒子が磁界から受ける力を理解する。・電磁誘導の法則をする。磁界中を運動する導体が受ける力を理解する。・コイルに流れる電流と発生する磁界から自己誘導と相互誘導について理解する。・誘導起電力と交流の発生について理解する。・電気振動と電磁波の発生について理解する。	始業式
9		電磁誘導の法則 磁界中を運動する導体の棒 自己誘導と相互誘導 交流	20		
10		電気振動と電磁波 章末問題			中間考査
10	物質と原子	物質の三態 気体の状態方程式 気体分子の熱運動 熱力学第1法則 状態変化と熱・仕事 章末問題	20	・分子の熱運動と物質の三態変化の関係を理解する。・気体の法則について理解する。	
11		電子の電荷と質量 原子の中の電子 物質中の電子のエネルギー 固体中での電子のふるまい 章末問題	18	・内部エネルギーの変化より、熱力学第一法則を理解する。・熱と仕事の関係より熱効率について理解する。真空放電から電子の存在が発見される過程を理解する。・原子核の予言や原子モデルの成立について理解する。物質中の電子の動きから半導体やトランジスタの原理を理解する。	期末考査
12	原子と原子核	光の粒子性 X線 粒子の波動性 電子モデル 章末問題	15	・原子の構造について理解する。・光電効果から光の粒子性について理解する。・X線の発生原理とその効果からその粒子性を理解する。極小世界における粒子と波動の二重性を理解する。・電子のエネルギー準位を理解する。・量子力学の誕生について理解する。	終業式
1		放射線と原子核 原子核とエネルギー 素粒子と宇宙 章末問題	15	・放射線の実験から原子核の存在を理解する。原子核のもつ膨大なエネルギーとその解放について理解する。・宇宙の誕生と素粒子について理解する。	始業式
2			18		
3					卒業式

教科名	理科	科目名	化学	単位数	4 単 位
対象学年	第 3 学 年 普通科 (理系)	履修形態	必修	授業形態	単 独
科目の目標	自然の事物・現象について、化学的に考察する能力と態度を身に付けさせるとともに、高度な化学的概念や原理・法則も理解させ、国公立大学2次入試での高得点を旨とする。また、センター入試で7割以上得点の実力を養成する。				
学習内容の概要	化学の土台の上に、化学結合、気体・液体の性質について学ぶ(第1部)。化学反応の速さと化学平衡の概念、電離平衡などを扱い(第2部)、高分子化合物の概要と主な糖類、アミノ酸、タンパク質について学ぶ(第3部)。さらに、生活と生命に関連する物質について具体的に学習する(第4部)。				
学習方法	実験や視聴覚教材を利用し、教科書の内容を理解させるとともに、入試問題を用いて実戦演習を行う。				
評価の観点	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。				
評価方法	平常点20点は授業態度・意欲・提出物の状況等で評価する。				
使用教材	啓林館「化学」、東京書籍「ニューグローバル化学 +」、東京書籍「ダイナミックワイド図説化学」、駿台文庫「理系標準問題集 化学」				
その他	生徒の進路や習熟度に応じて宿題提出を行なう。また、平日の課外学習で、2週間に1回80分の講習において、センター入試対策を行う。標準問題集について、定期的に進捗状況を点検する。				

年 間 授 業 計 画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	第1部 物質の構造	第1章 化学結合	10	化学結合の種類と仕組み、および化学結合の違いが物質の性質にどのように反映するかを十分学習させる。	始業式
5		第2章 物質の状態変化	15	エネルギーの観点から状態変化を考察する学習を行う。	中間考査
		第3章 気体の性質		気体の体積が、温度・圧力の変化にともない、どのように変化するかを考察し理解する。	
6		第4章 溶液の性質	20	溶解の仕組みを理解させ、濃度、溶解度、ヘンリーの法則、希薄溶液、コロイドの性質を学ぶ。	期末考査
7	第2部 反応速度と平衡	第1章 反応速度	15	化学反応における反応速度と反応のしくみ、可逆反応における化学平衡とその移動、さらに電離平衡について学ばせる。	
8		第2章 化学平衡		可逆反応を理解させた後、化学平衡の概念を理解させる。化学平衡の移動がルシャトリエの原理に従うことを理解させ、化学工業で、反応速度・化学平衡の知識がどのように活用されているかを理解させる。また、電離平衡をもとに、いろいろな水溶液のpHが求められるよう指導する。	終業式
9				15	
10	第3部 生活と物質	第1章 食品の化学	20	食品に含まれる糖類、タンパク質、脂質について学ぶ。	中間考査
11		第2章 衣料の化学	20	さまざまな高分子化合物について学び、その製法や性質を理解する。	期末考査
		第3章 材料の化学		プラスチックやゴムの製法・構造・性質について学ぶ。	
12	センター試験対策		15	センター試験や模擬試験の過去問を中心に学習し、実力を養成する。	終業式
1	二次対策		15		始業式
2			10	国・公・私立大学の二次試験の過去問を中心に学習し、より深い内容を理解させる。	卒業考査
3			0		卒業式

教科名	理科	科目名	生物	単位数	2 単位
対象学年	第3学年 普通科・文系	履修形態	必修	授業形態	単独
科目の目標	大学受験を目指す普通科の生徒に対し、自然科学の一般的な教養を身につけさせると同時に、演習問題を中心としセンター試験で高得点につながることを目標とする。				
学習内容の概要	問題集による生物 の基礎的内容の理解および発展学習、自然科学の探求に必要な思考力を問う				
学習方法	演示実験や生徒実験および視聴覚教材を利用しながら教科書の内容を理解させる。また、問題演習を通じて思考力や計算力を身につけさせる				
評価の観点・ 評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。 平常点20点は授業態度・実験観察の態度・意欲・提出物の状況・理解度の4項目各5点で評価する。				
使用教材	教科書、 啓林館 生物 問題集、 数研出版 生物 資料集、 数研出版 新課程 フォトサイエンス生物図録				
その他	生徒の進路や習熟度に応じて課外授業や宿題提出を行なう 週1回放課後の補習				

年 間 授 業 計 画

月	項 目	学 習 内 容	時 間	学 習 の ポ イ ン ト	主 な 学 校 行 事
4	第1篇 生命の連続性 第2編 生物の生活と環境	細胞と個体の成り立ち 生殖と発生 遺伝 刺激の受容と反応 内部環境の恒常性 自律神経 植物の反応と調節	6	生物 の内容において、理解が難しいと思われる内容、特に遺伝・計算問題・グラフの理解を重点的に学習する。また、暗記内容になるものは、一問一答形式のプリントを作成したものをやらせる。	始業式
5			6		中間考査
6			6		期末考査
7			6		終業式 夏期補習
8	センター試験対策		8	センター試験の過去問や対策問題をしてセンター入試で高得点が狙えるよう実力をつける。	始業式
9			8		中間考査
10			8		
11			8		
12			4		
			6		終業式
1	私立受験対策			私立受験のために過去問や対策プリント等を行い高得点を目指す。	始業式
2					卒業考査
3					卒業式

教科名	理科	科目名	生物	単位数	5 単位
対象学年	第3学年 普通科(理系)	履修形態	必修	授業形態	単独
科目の目標	大学受験を目指す生徒に対し、自然科学の一般的な教養を身につけさせ、必要な学力をつけさせることを目標にしている				
学習内容の概要	教科書の内容に準じた知識の習得および発展学習、自然科学の探求に必要な思考力を問う				
学習方法	演示実験や生徒実験および視聴覚教材を利用しながら教科書の内容を理解させる。また、問題演習を通じて思考力や計算力を身につけさせる				
評価の観点・評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と小テスト、及び 平常点・出席点で評価する。平常点20点は授業態度・実験観察の態度・意欲・提出物の状況・理解度の4項目各5点で評価する。				
使用教材	教科書、 啓林館 生物 問題集、 数研出版 生物 生物図録、 数研出版				
その他	生徒の進路や習熟度に応じて課外授業や宿題提出を行なう・週1回の放課後講習				

年 間 授 業 計 画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	生物体内の化学反応と酵素	タンパク質代謝とエネルギー代謝 酵素反応とその特性	12	いろいろなタンパク質によって起こる生命現象について学ぶ。	始業式
5	細胞呼吸	呼吸 嫌気呼吸 好気呼吸	18	好気呼吸・嫌気呼吸の回路について学ぶ。	中間考査
6	光合成と窒素同化	光エネルギーの吸収 二酸化炭素の固定 細菌の光合成と化学合成 窒素同化	18	炭酸同化・窒素同化について植物がどのように同化産物を合成するか学ぶ	
7	生命現象とタンパク	生体を動かすタンパク質 生体を守るタンパク質 細胞間の情報伝達に働くタンパク	14	いろいろなタンパク質によって起こる生命現象について学ぶ	期末考査 終業式
8					
9	遺伝を担う核酸	遺伝の本体 遺伝情報の発現	20	核酸の構造と働きについて学ぶ。また、どのようにタンパク質を合成するか遺伝レベルで学ぶ。	始業式
10	遺伝子制御	タンパク質合成の制御 形態形成	18	細胞の全能性・組織培養などについて学ぶ。	中間考査
11	遺伝子工学とバイオテクノロジー	遺伝子工学 バイオテクノロジー ゲノムプロジェクト	18	人間の手で遺伝子を操作できるようになり、生物の形質をどのように変えてどのように利用しているかを学ぶ。	
11	生物の分類と系統	生物の多様性と分類 植物の分類と系統 動物の分類と系統	18	多様な生物を一定の法則にしたがって、名前が付けられ、分類されていることを学ぶ	
12	生物界の変遷	生命の起源と細胞の進化 生物界の変遷と地球環境の変化 人類の誕生	12	化石や地球科学的な証拠から進化について学ぶ	期末考査 終業式
1	個体群とその変動	個体群の成長 個体群の変動	12	個体群の成長と変動について学ぶ	始業式
2	生物群集の構造と維持	異種個体群間の関係 植物群落の構造物質生産	18	個体群間の関係や植物の群落について学ぶ	
2	生態系の平衡とその保全	植物群落の遷移と再生 生態系の物質収支 エネルギーの流れと物質循環	18	生態系での物質循環の仕組みやエネルギーの流れについて学ぶ	期末考査
3					

教科名	保健体育	科目名	体育	単位数	3 単位
対象学年	第3学年 普通科男子	履修形態	必修	授業形態	クラス単位
科目の目標	高等学校の体育の学習では、運動やスポーツに積極的に競技に参加し、現在から未来に向けての運動やスポーツへの「親しみ方」や「楽しみ方」を身につけていく。				
学習内容の概要	運動やスポーツの基礎・基本や安全について、しっかり学習し、自分で計画、工夫していける能力を高める。				
学習方法	陸上・サッカー・バスケットボールを通して、グループ活動の中で協調性を養う事で、関心や意欲をより高めるとともに互いに協力して運動ができるようにする。				
評価の観点・評価方法	規定に従い、1学期・2学期・3学期とも実技試験と平常点で評価する。平常点20点は授業態度や意欲、出席点で評価する。				
使用教材					
その他					

年 間 授 業 計 画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	陸上	跳躍	3	自己の能力に応じた課題を 目指し計画的な練習の仕方を 工夫する。	始業式
			3		新入生合宿
			3		中間考査
			3		
5	投てき	3	測定。	中間考査	
		3			
6	競走	3	測定。	中間考査	
		3			
7	跳躍・投てき・競走	3	測定。	中間考査	
		3			
8			3	自己の能力に応じた目標を立てる。	始業式
9	バレーボール	パス	3	パスの種類を覚える。 正しいパスの仕方を学ぶ。 ルールを学ぶ。	体育祭 中間考査
			3		
			3		
			3		
10	サーブ アタック	3 3	ドリブルとシュートのタイミング に注意しながら練習する。	体育祭 中間考査	
					3
11	ゲーム	3 3 3	協調性を高める学習をする。	文化祭	
					3
					3
12	バスケットボール	パス	3	パスの種類を覚える。 正しいパスの仕方を学ぶ。 ルールを学ぶ。	期末考査 終業式
			3		
			3		
1	ドリブルシュート	3 3	ドリブルとシュートのタイミング に注意しながら練習する。	始業式	
					3
2	ゲーム	3 3	協調性を高める学習をする。	入試 期末考査	
					3
3					終業式

教科名	保健体育	科目名	体育	単位数	3 単位
対象学年	第3学年 普通科女子	履修形態	必修	授業形態	クラス単位
科目の目標	高等学校の体育の学習では、運動やスポーツに積極的に参加し、現在から未来に向けての運動やスポーツへの「親しみ方」や「楽しみ方」を身につけていく。				
学習内容の概要	運動やスポーツの基礎・基本や安全について、しっかり学習し、自分で計画、工夫していける能力を完成させる。				
学習方法	陸上・バドミントン・バスケットボールを通して、グループ活動の中で協調性を養う事で、関心や意欲をより高めるとともに常に互いに協力して運動ができるようにする。				
評価の観点・評価方法	規定に従い、1学期・2学期・3学期とも実技試験と平常点で評価する。平常点20点は授業態度や意欲、出席点で評価する。				
使用教材					
その他					

年間授業計画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事		
4	陸上	跳躍	3 3	自己の能力に応じた課題を 目指し計画的な練習の仕方を 工夫する。	始業式 新入生合宿		
5		投てき	3 3 3		中間考査		
6		競走	3 3				
7		跳躍・投てき・競走	3 3		測定。	期末考査 終業式 夏期補習	
8		バドミントン	サーブ		3	サーブの種類を 覚える 回数を決めて連続で 打ち合えるようにする。	始業式
9			乱打		3 3		体育祭 中間考査
10			スマッシュ		3 3		
11	ゲーム		3 3	協調性を高める学習をする。	文化祭		
12	バスケットボール	パス	3 3 3	パスの種類を覚える。 正しいパスの仕方を学ぶ。	期末考査 終業式		
1		ドリブルシュート	3 3 3		ドリブルとシュートのタイミング に注意しながら練習する。	始業式	
2		ゲーム	3 3 3		協調性を高める学習をする。	入試 卒業考査	
3							

教科名	外国語（英語）	科目名	オーラル・コミュニケーション	単位数	3単位
対象学年	第3学年 普通科 特別進学コース（文系）	履修形態	必修	授業形態	単独
科目の目標	幅広い話題について、情報や考えなどを整理して英語で発表したり、話し合ったりする能力を伸ばす。 積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。				
学習内容の概要	教科書及びその関連した言語材料を用い、4領域のうち、聞く及び話すという音声によるコミュニケーション活動を中心に行う。				
学習方法	スピーチなどまとまりのある話の概要や要点を聞き取り、それについて自分の考えをまとめる。 幅広い話題について情報や考えを整理し、発表したり、話し合ったり、討論したりする。				
評価の観点・評価方法	1学期・2学期・3学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。 平常点20点は授業態度・意欲・提出物の状況・理解度の4項目各5点で評価する。				
使用教材	「Birdland Oral Communication」吉田研作他著(文英堂)2004年 「実践トレーニング基礎英単語・熟語5000語レベル」橋本宏著(中央図書)1995年				
その他					

年 間 授 業 計 画

月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	Lesson 1	プレゼンテーション [学校紹介]	3	プレゼンテーションの基礎を習得する。	始業式 新入生合宿
	Lesson 2	プレゼンテーション	3		
5	Lesson 9	[旅行] プレゼンテーション [タイムカプセル]	1 3	物価値や自分の主張を相手に伝える。	中間考査
	Lesson 3	ディスカッション	3		
6	Lesson 4	[食事] ディスカッション	3	役割や立場を設定した模擬ディスカッションを行う。	
	Lesson 10	[マナー] ディスカッション	3		
7	Listening	[友情]	1	お互いの考えを共有する。 Listening対策演習を行う。	期末考査 終業式 夏期補習
			2		
8	Lesson 5	ディベート	3	ディベートの基礎を習得する。	始業式 実力テスト
9	Lesson 6	[AI/ロボット] ディベート	3	紙と電子メディアについて、ディベートを行う。	
	Lesson 11	[メディア] ディベート	3		
10	Lesson 7	[少子化] スピーチ	1 3	十分にスピーチの基礎を習得する。	中間考査
	Lesson 8	[スポーツ] スピーチ	3		
11	Lesson 12	[ボランティア] スピーチ [進路]	3	ボランティア活動参加の意義について、スピーチを行う。 将来の夢や関心のある職業を題材に、スピーチを行う。	
			3		
12	Listening		1	Listening対策演習を行う。	期末考査 終業式
			2		
1	Listening		3	Listening対策演習を行う。	始業式・実力テスト センター試験
2					期末考査
3					卒業式

教科名	外国語（英語）	科目名	リーディング	単位数	3単位
対象学年	第3学年 普通科 特別進学コース	履修形態	必修	授業形態	一斉授業
科目の 目標	英語を読んで、情報や書き手の意向などを理解する能力を更に伸ばす。 この能力を活用して積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。				
学習内容の 概要	教科書及びその関連した言語材料を用い、4領域を有機的に関連付けた活動を通して、 文章を的確に読み取る能力を養う。				
学習方法	文章を読んで、必要な情報を得たり、概要や要点をまとめる。 文章を読んで、書き手の意向を理解し、それについて自分の考えをまとめ、伝える。				
評価の観点 ・評価方法	1学期・2学期・3学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。 平常点20点は授業態度・意欲・提出物の状況・理解度の4項目各5点で評価する。				
使用教材	「CROWN English Reading」霜崎實他著(三省堂) 「CROWN English Reading WORKBOOK STANDARD」三省堂編修所著(三省堂)				
その他					

年 間 授 業 計 画

月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	Lesson 1	Saying the Same Thing in Different Ways	5	ことば・比較文化・論説文	始業式 新入生合宿
	Lesson 2	This Is Not a Pipe	5	芸術・生き方・論説文	
5	Lesson 3	When the World Melts 中間考査解答解説	5 1	環境・民俗・文化 / 新聞記事	中間考査
	Lesson 4	Papalagi Never Have	5	民俗・文化・現代社会 / スピーチ	
6	Lesson 5	Interview with Ichiro	5	スポーツ・生き方・ インタビュー記事	期末考査
	Lesson 6	The Grameen Bank	5	社会・経済・生き方 / 講演	
7	Lesson 7	期末考査解答解説	1	科学 / 論説文	終業式 夏期補習
		This Dizzy World	5		
8	Lesson 8	The First Mission to America	5	比較文化・歴史 / 紀行文	始業式
9	Lesson 9	Losing Battle after Battle	5	建築・生き方 / 論説文	
	Lesson 10	Plenty of Room at the Bottom	5	科学・理論 / 論説文	
10	Lesson 11	中間考査解答解説	1	教育・情報 / インタビュー記事	中間考査
		The Meaning of Education in Modern Society	5		
11	Lesson 12 入試問題演習	"I Have a Dream" - Martin Luther King, Jr.- 実践問題演習	5 14	民族・歴史 / スピーチ センター試験対策演習	
12					終業式
1	入試問題演習	実践問題演習	14	センター試験対策演習	始業式・実力テスト
2	入試問題演習	合格答案への実践練習	14	各受験大学の出題傾向にあわ せた演習	
3					卒業式 終業式

教科名	外国語（英語）	科目名	ライティング	単位数	2単位
対象学年	第3学年 普通科 特別進学コース	履修形態	必修	授業形態	一斉授業
科目の目標	情報や考えなどを、場面や目的に応じて英語で書く能力を更に伸ばすこと。 この能力を活用して積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てること。				
学習内容の概要	生徒が情報や考えなどの送り手や受け手になるように具体的な言語の使用場面を設定する。その場面や目的に応じて、読み手に理解されるように書くこと。				
学習方法	聞くこと、話すことおよび読むことも有機的に関連付けた活動を行いながら、より豊かな内容やより適切な形式で書けるように学習する。				
評価の観点・評価方法	1学期・2学期・3学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。 平常点20点は授業態度・意欲・提出物の状況・理解度の4項目各5点で評価する。				
使用教材	「CROWN English Writing」(三省堂)2004年				
その他					

年 間 授 業 計 画

月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事	
4	Part 2 Lesson 4	歓迎会への招待	2 2	目的地までの行き方を書く	始業式 新入生合宿	
	Part 2 Lesson 5	留学するとしたら	2	問い合わせの手紙を書く		
5	Part 2 Lesson 6	インターネットでショッピング	1	苦情のEメールを書く	中間考査	
	Part 2 Lesson 7	絶滅しつつある動物たち 中間考査解答解説	2 1	特徴を説明する		
	Part 2 Lesson 8	一葉の生涯	2	時の流れに沿って書く		
6	Part 2 Lesson 9	無言館	2	お薦めの場所を紹介する	期末考査	
	Part 2 Lesson 10	将来の夢は・・・	2	自分の意見を書く		
	Part 2 Lesson 11	"非識字率"って何?	2	原因・結果を説明する		
7	Review	期末考査解答解説	1 2		終業式	
8	Part 2 Lesson 12	早期英語教育は必要か	2 2	賛成・反対の意見を書く	始業式	
9	Part 2 Lesson 13 Part 2 Lesson 14 Part 2 Lesson 15	日本料理のレシピ 飛行機はなぜ飛ぶのか 環境問題を考える	2 2 2	手順・方法に注意して書く 図表を使って説明する 要約する		
10	入試問題演習	中間考査解答解説 実践問題演習	2 1 2	基礎文法を理解し確実に 間違いなく書く	中間考査	
11	入試問題演習	実践問題演習	2 2 2 2	センター試験対策演習		
12			1 2 2		終業式	
1	入試問題演習	実践問題演習	2 2 2	センター試験を考慮した指導をする	始業式・実力テスト	
2	入試問題演習	合格答案への実践練習	2 2 2 1	各受験大学の出題傾向にあわせた演習を中心に学習する		
3					卒業式	
					終業式	

教科名	家庭	科目名	家庭基礎	単位数	1 単位
対象学年	第3学年 普通科	履修形態	必修	授業形態	男女共修
科目の目標	人の一生と家族・福祉・衣食住・消費生活について学び、自分の生命、未来の生命を個人・家族・社会の協力でどのようにすこやかに育てていけたらよいかを考え、生活充実向上を図る態度を育てる。				
学習内容の概要	1. 食生活における健康と安全 2. 衣生活と住生活における健康と安全 3. 消費生活と資源・環境 4. ホームプロジェクト				
学習方法	・新聞等で社会の動きを把握するとともに、自分の家庭及び地域の実態にも目を配り、そこに存在する生活課題を見つけ、課題意識を持つ。 ・問題解決の過程を大切に、授業で身に付けた知識や技術を日常生活の中で生かし、日々の生活改善、充実に努める。				
評価の観点・評価方法	・評価の観点は 家庭科への関心、意欲、態度 生活課題を主体的に解決するために思考、判断 基礎的、基本的な技術の習得状況 知識、理解 の4項目とする。 ・評価の方法は、規定に従い考查の成績とノート、プリント提出状況、実習への参加、態度などを各学期ごとにまとめる。また、授業中の学習態度、出席状況について考慮し、総合的に評価する。				
使用教材	家庭基礎 - すこやかに生きる - (一橋出版), 学習ノート(一橋出版), 課題プリント				
その他	家庭基礎2単位のうち1単位は1年次に履修				

年間授業計画

月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	家庭科を学ぶにあたって食生活における健康と安全	食生活を見つめる	3	健康な生活の基本である食生活について、自分の食生活の点検からはじめ、食生活の問題を考える。	始業式
5		食べ物を栄養的にみる	3	栄養素の種類と機能、栄養所要量、食品群別摂取量のめやすなどの基礎的な知識を学び、バランスのとれた食生活の重要性を理解し、またライフステージごとの栄養的特徴について理解する。	中間考查
6		食品を手に入れる食品を安全に保つ	3	食品の腐敗や変敗、食中毒、食品添加物などについて理解し、安全で衛生的な食生活が営むことができるようにする。	
7		食事をつくる	3	日常用いられている食品の栄養的特徴と調理上の性質について理解し、献立作成に生かすとともに、調理の要点と調理の基礎的技術を身につける。また食事マナーを知り、楽しく食事をする工夫をする。	期末考查 終業式 夏期補習
8	ホームプロジェクト	食生活調査	2	夏休みにホームプロジェクトの課題をする。	始業式
9	衣生活と住生活における健康と安全	衣生活を見つめる 衣服の材料を知る	4	被服の保健衛生的機能と社会的機能、被服材料の性能とかわらせた適切な選択や管理などに関する基礎的な知識と技術を習得する。衣服の購入を通して消費生活の問題について考える。	
10		衣服を選び整える 被服製作	4		中間考查
11	消費生活と資源・環境	社会の変化と消費行動	4		
12		消費者問題とその解決方法	3	家庭の経済生活に関する基礎的事項を理解し、社会の変化に伴う消費構造の変化、販売方法の複雑化、多様化、様々な消費問題を理解する。	期末考查 終業式
1		家庭経済と生活設計	3		始業式 卒業考查
2		環境にやさしい生活を考える	3	消費問題のまとめとして自分たちや未来の世代の環境について自らの消費活動や生活について考える。	
3					卒業式

平成20年度普通科「総合的な学習の時間」

実施計画[時間割分のみ]

月	日	曜	3年	
4	14	月	1	小論・進路指導
	21	月	2	小論・進路指導
	28	月	3	小論・進路指導
5	12	月	4	小論・進路指導
	19	月	5	小論・進路指導
	26	月	6	小論・進路指導
6	9	月	7	進研6月マーク
	16	月	8	小論・進路指導
	23	月	9	小論・進路指導
	30	月	10	期末考査
7	7	月	11	小論・進路指導
9	1	月	12	小論・進路指導
	8	月	13	小論・進路指導
	22	月	14	小論・進路指導
	29	月	15	小論・進路指導
10	6	月	16	小論・進路指導
	20	月	17	小論・進路指導
	27	月	18	小論・進路指導
11	10	月	19	小論・進路指導
	17	月	20	小論・進路指導
12	1	月	21	期末考査
	8	月	22	小論・進路指導
	15	月	23	小論・進路指導
1	19	月		自己採点
	26	月		2次対策授業
2	9	月		2次対策授業
	16	月		期末考査
	23	月		国公立前期